

大津絵 れきはく蔵出し展 2022 (第172回三二企画展)

柴田晩葉と近代日本画家の大津絵 2022年4月26日(火)～6月19日(日)

大正時代(1912～1926)、鉄道開通に伴い衰退していた街道の土産物「大津絵」は、柳宗悦や楠瀬日年らの再評価によって、再び注目されるようになります。大津出身の山元春拳門人・柴田晩葉(1885～1944)もその影響を受け、本来の日本画制作の傍ら、たびたび大津絵を手掛け、市内には少なからずの大津絵作品が伝わっています。また、山元春拳画塾「早苗会」においても同様に大津絵を手掛ける塾員がいました。本展では、晩葉の大津絵4点をはじめ、柳の大津絵賞賛に先行して大津絵の魅力を発見した明治の画家たちの我流大津絵など、大津絵再評価全盛期の大正期～昭和初期における、奔放で遊び心にあふれた近代日本画家の大津絵を紹介します。

〔展示作品目録〕

作品名	時代	所蔵者
柴田晩葉 藤娘図	昭和時代	個人蔵
柴田晩葉 藤娘図	昭和時代	個人蔵
柴田晩葉 槍持ち奴図	昭和時代	本館蔵
柴田晩葉 雷公と複葉機図	大正3年(1914)	個人蔵
小林翠溪 浮世又平と大津絵の精	大正時代	個人蔵
早苗会寄合大津絵六種図 (川村曼舟・小村大雲・三宅鳳白・勝田哲・案本一洋・庄田鶴友)	昭和8年(1933)頃	本館蔵
山口八九子 阿弥陀三尊来迎	昭和時代	白澤庵蔵
北上聖牛 鬼念仏図	大正時代	白澤庵蔵
橋本閑雪 鬼念仏	昭和時代	個人蔵
富田溪仙 鬼念仏図	昭和時代	白澤庵蔵
徳力富吉郎 鬼念仏・藤娘図(木版)	昭和16年(1941)	個人蔵
北野恒富 藤娘図	大正時代	白澤庵蔵
大林千萬樹 藤娘図	大正時代	白澤庵蔵
中川紀元 藤娘図	昭和時代	白澤庵蔵
山村耕花 若衆図	大正時代	白澤庵蔵
寄合大津絵三種図(幸野煤嶺・久保田米僊・巨勢小石)	明治時代	白澤庵蔵
富田溪仙 大津絵六種図	大正3年(1914)	白澤庵蔵
若狭物外 大津絵九種図	昭和22年(1947)	白澤庵蔵
京都画壇寄合大津絵屏風(木版、左隻) (菊池契月・西村五雲・山元春拳・大谷句佛・土田麦僊・富岡鉄斎)	大正12年(1923)	個人蔵
浅井忠 黙語図案集より大津絵菓子皿図案	明治41年(1908)	本館蔵
富岡鉄斎 大黒と外法の相撲図	明治時代	個人蔵
墨林 鬼念仏図	大正時代	個人蔵

大津市歴史博物館 (滋賀県大津市御陵町2番2号、電話077-521-2100)